

うるま市立高江洲中学校  
学校だより  
2020年度 第4号  
発行:校長 松堂弘政



# 同志小

「同志小(どうしぐわあー)」とは  
同じころざしをもった仲間(友達)が集  
まった学校を目指すという意味です。

## 2学期の序盤の様子と未来の教師達

### 高校説明会の様子

3学年においては、各県立高等学校の進路担当の先生方が本校に  
来校し、高校説明会が実施されております。すでに、具志川商  
業高校、前原高校、中部農林高校、美里工業高校、美来工科高校、  
具志川高校、コザ高校、コザ高校定時制等の学校が、それぞれの  
学校概要、特色有る教育課程、生徒の活躍状況、生徒指導・進路  
指導、部活動、入試に関する内容の説明が行われました。現在、  
各高等学校から体験入学・オープンキャンパス・学校説明会の案  
内が届いており、進路だよりにて生徒及び保護者への周知を行っ  
ております。



### 1学年「職業新聞」コンテスト

1学年は、総合的な学習の  
時間の中で「職業新聞」を作  
成し、職業新聞コンテストが  
実施されました。新聞は様々  
な職業について、個々のアイ  
ディアや工夫を凝らしたもの  
になっておりました。「新聞  
記者」という職業を題材にし  
た新聞が金賞を受賞しており  
ます。



金賞を受賞した作品です

### 思春期教室の様子(3年生)

子どもたちが生と性について学び、自己を大切にすること。また、よ  
りよい人間関係を築き、性の自立を獲得し、未来を切り開いていける  
力を身につける事をねらいとして、うるま市内全ての中学校で思春期  
教室の実施が求められております。本校では、7月に2年生、9月・  
10月に3年生、1月に1年生の日程で実施し計画されております。

9月の思春期教室は、講師に助産師の笹良秀美さんを迎えて行われ  
ました。講師の笹良さんは、「思春期の心身の変化」「十代の妊娠と出  
産について」「避妊法について」「性感染症について」等の内容で多く  
の中学校及び高等学校にて講話をしております。また、笹良さんは、  
「多くの子ども、(10代)が共に時間を過ごす「学校」という場  
での性教育はとても大切です。性について正しい知識を学ぶことは、子  
どもたちをはじめとしたすべての人の権利です。しかし、性教育対  
するイメージや個々の価値観などで正しく理解されないまま、子ども  
たちのもとに届かない現状があります。性について、大人が正しく学  
び伝えていくことで、子どもたちの豊かな未来が開けていく事が望ま  
れます。」と性教育の重要性をお話していただきました。



講師: 笹良秀美さん

講話を聞く生徒全体の様子

### 未来の教師・教育実習生の抱負

本年度、9月7日(月)より15日間の日程で、本校出身の4名の大学生が教育実習生を実施しました。本人たちの中学時代の思い出と重ね合わせながら、子どもたちと共に充実した学校生活を送ったと思います。ぜひとも教員になって活躍を期待しております。

#### 島袋桃子(社会)



今年度は、コ  
ロナウィルスの  
影響で休校が続  
いたり、他の学  
校では、教育実習が短くなっ  
たりする中で、母校である高江  
洲中学校での教育実習を行う事  
ができ大変嬉しく思います。こ  
の教育実習では、授業を行うだ  
けでなく、先生方や生徒とでき  
るだけたくさんコミュニケーション  
をとり、様々なところから学  
びを得られるようにしたいと考  
えます。実習が始まって一週間  
がたち学校にもだんだん慣れて  
きましたが、日々自分の勉強不  
足を感じ、日々学ぶことも多く  
ありました。最後まで体調管理  
をしっかりと行い、やれること  
は全部やって実習を終えたいと  
思っています。

#### 玉城菜々子(音楽)



これまで何度  
か授業をしまし  
たが、先生方の  
ようにスムーズ  
に進める事ができ  
ません。言葉に  
つまってしまっ  
たり、解説が伝  
わらなかつたり  
します。先生方  
の授業を観察し  
て、これからは  
授業を行い試行  
錯誤していきな  
がら実践的に取  
り組んで行きな  
いと思います。また、一週間程  
度生徒と関わ  
って、自分が大  
人になった今、  
中学生が思った  
より子どもで  
とても素直であ  
ると感じまし  
た。少しのきっ  
かけで落ち込  
んだり、喜ん  
だり、やる気  
を出したりする  
事が分かりまし  
た。教師は、一  
人一人の生徒理  
解とそれに  
応じた指導が必  
要だと学びまし  
た。短い期間  
ではありませ  
んが、多くの生  
徒と関わり、過  
ごして行きたい  
と思います。

#### 照屋美優(音楽)



今年度は例年  
とは違い新型コ  
ロナウィルス感  
染症が流行し、  
とても不安な気  
持ちでしたが、  
8年ぶりの母校  
での実習をさせ  
ていただくこと  
になり大変嬉し  
いです。一週間  
が経ち、とても  
緊張していた  
初日に比べると  
少しずつ生徒と  
もコミュニケーションがとれる  
ようになって  
いたり、授業実  
習をさせていただ  
いたり、慣れて  
きたように感じ  
ます。授業実習  
では準備の大  
変さや授業を進  
める事の難しさ  
、生徒達の関  
わり方等を学  
び、自分が生  
徒だった頃を思  
い出しながら  
今、先生の立  
場に立ってみ  
てあの頃は分  
からなかった  
大変さを知る  
ことができました。  
一人一人の生  
徒に寄り添っ  
た関わり方が  
できるよう、  
残りの日々を  
大切に過ご  
しながら頑  
張りたいと思  
います。

#### 具志百夏(国語)



大学4年間の  
集大成である  
教育実習を今  
年度、高江洲  
中学校の生徒  
達と一緒に勉  
強する事がで  
き嬉しく思っ  
ています。教育  
実習がスタート  
して半分が過  
ぎましたが、初  
日はとても緊  
張して上手く  
生徒とコミュ  
ニケーション  
が取れなかつ  
たり、うまく  
動けず、悔し  
い思いもしま  
したが、生徒  
達が明るく  
「先生!」と  
声をかけて  
くれたりして  
、生徒達に  
助けられる  
場面も沢  
山あり、楽  
しく教育実  
習を行うこ  
とができま  
す。授業実践  
では、先生  
方の指導  
の下、生徒  
主体の授業  
づくりを意  
識し、大学  
では、学べ  
ない沢山の  
事を学ぶ事  
ができました。  
教育実習も  
残りわずか  
となりました  
が、日々、  
先生方や  
生徒達から  
沢山の学  
びを得て自  
分の力にし  
、全力で頑  
張ります。